

令和 4 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅲ)

注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 小学校の 10 教科の中から、1 教科を選択して受験してください。
3. 問題は 2 問とも解答してください。
4. 解答用紙は、1 問につき 1 枚(表のみ)使用してください。
5. 算用数字は 1 マスに 2 文字、記号及びアルファベットは 1 マスに 1 文字とします。問題において特段の指示があるものは、これにかかわらず問題の指示のとおりとします。
6. 解答する教科名、受験番号、氏名を解答用紙の指定された欄に 2 枚とも必ず記入してください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 120 分です。〔「教科及び教職に関する科目(Ⅳ)」の解答時間も含みます。〕
8. 試験が終わるまで退室できません。
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 問題文中の「小学校学習指導要領」とは「小学校学習指導要領」(平成 29 年 3 月文部科学省告示第 63 号)における対応する教科の章又は節を指し、各教科の『小学校学習指導要領解説』とは文部科学省『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説』(平成 29 年 7 月)の対応する教科のものを指すものとします。
12. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。
13. 各教科のページ数は次ページの目次に記載しています。

目 次

1. 国 語	1
2. 社 会	5
3. 算 数	9
4. 理 科	13
5. 生 活	17
6. 音 楽	21
7. 図画工作	25
8. 家 庭	29
9. 体 育	33
10. 外国語(英語)	37

国語

問 1 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 5 学年及び第 6 学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと」の(1)のウでは、次の指導事項が示されている。

目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

この指導事項に示す資質・能力の育成を目指して、〔思考力、判断力、表現力等〕の「B 書くこと」の(2)に示されている言語活動例「ア 事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動」を通して指導を行いたい。そこで、第 5 学年の授業で、「高学年の一員として、学校生活をよりよくするために個人や学年としてできることを学年の友達に提案する文章を書こう」という課題を設定して 6 時間の学習活動を進めることとした。

あなたならどのような授業を考え、どのように指導を行うか、提案する文章を書く活動を通して 6 時間の学習指導全体が分かるように、600 字以上 800 字以内で書きなさい。

問 2 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕 2 内容〔知識及び技能〕」の(1)のオでは、次の指導事項が示されている。

様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し，語彙を豊かにすること。

この事項について、下線部の「様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，話や文章の中で使う」ことに重点を置いて指導することとした。その際，〔思考力，判断力，表現力等〕の「C 読むこと」の(2)に示されている言語活動例「イ 詩や物語などを読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりする活動」を通して指導を行いたい。そこで，第4学年の物語文を取り上げた授業で，「物語を読んで，心に残る登場人物の思いや性格などを説明したり，考えたことを伝え合ったりしよう」という学習のめあてを設定して8時間の学習活動を進めることとした。

あなたならどのような授業内容を考え，どのような指導を行うか，8時間の学習指導全体が分かるように，また下線部の指導のねらいに基づく指導の手立てを明示しながら，600字以上800字以内で書きなさい。なお，教科書教材または他の作品等を想定し，その登場人物を取り上げて説明してもよい。

社 会

問 1 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容」の第6 学年の内容として、次の事項が示されている。

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。

(ア)～(ク) (略)

(ケ) 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解すること。

(コ)～(シ) (略)

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

このことについて、次の問いに答えなさい。なお、解答用紙の行頭1文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後にそれぞれ答えること。

(1) 上記ア(ケ)において、人物に着目して学習する際に取り上げる人物として、適切な人物を三人挙げなさい。

(2) 上記イ(ア)の「代表的な文化遺産などに着目して」について、どのような文化遺産を取り上げて、どのようなことについて調べ、配慮し、考えるようにするか、150字程度で説明しなさい。

問 2 次の文章は、第 6 学年における「地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力」に着目した学習に関わる記述である。

2015 年 9 月にアメリカ合衆国・ニューヨークで開催された国連サミットにおいて、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が採択され、2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 のターゲットから成る「持続可能な開発目標 (SDGs)」が設定された。SDGs で重視されている「誰一人取り残さない」という理念は、「人間の安全保障」の理念^①の反映ともいわれる。

SDGs から分かるように、現代の世界には、貧困や飢餓の問題、地球環境問題、資源・エネルギー問題などの多くの課題が存在している。これらの地球規模で発生している課題の解決には、世界の国々が連携・協力していくことが必要となり、様々な取組が進んでいる。

例えば、貧困の解消のために、先進国の政府を中心として行われている政府開発援助 (ODA) をはじめとして、近年では、フェアトレードやマイクロクレジットなどの取組も注目されている。^②

また、地球環境や資源・エネルギーに関わっては、太陽光、風力、地熱、バイオマスなどの再生可能エネルギーを利用した発電の普及も進められている。^③

このような地球規模で発生している課題は、多様な見解のある事柄、未確定な事柄でもあるため、その解決は容易ではないが、自らの問題として主体的に捉え、身近なところから可能な取組を行い、問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容を生み出すことで、持続可能な社会の実現を目指していくことも重要である。^④

このことについて、次の問いに答えなさい。なお、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)～(4)の問題番号を書いた後にそれぞれ答えること。

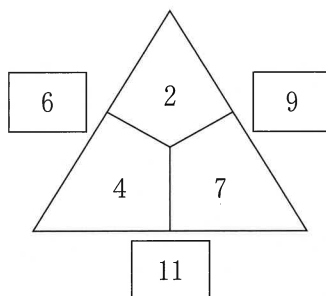
- (1) 下線部①について、「人間の安全保障」とはどのような考え方か。「国家の安全保障」の考え方と対比しながら、120 字程度で簡潔に説明しなさい。
- (2) 下線部②について、フェアトレードとは何か。80 字程度で簡潔に説明しなさい。
- (3) 下線部③について、火力発電と比べて、再生可能エネルギーによる発電には、どのような利点と課題があるか。利点と課題それぞれ二つ以上の視点を挙げて、合わせて 150 字程度で述べなさい。
- (4) 下線部④について、多様な見解のある事柄、未確定な事柄を取り上げる場合には、どのような点に留意することが必要となるか。『小学校学習指導要領解説』の「第 4 章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いについての配慮事項」に基づき、150 字程度で述べなさい。

算 数

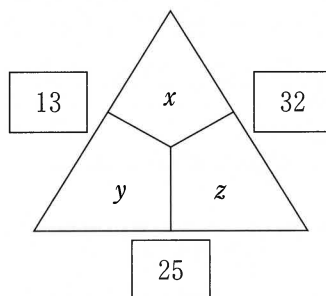
問 1 「小数の加法及び減法」の指導について、次の問いに答えなさい。なお、解答は、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後にそれぞれ答えなさい。

- (1) 『小学校学習指導要領解説』では、小数の加法及び減法の計算について、「小数の仕組みの理解の上に立って行うようにし、整数と同じ原理、手順でできることを理解できるように指導する。」と示されている。小数の加法及び減法の学習のうち、特に筆算の学習において児童のどのような誤答が考えられるか。 $3.1 + 2.45$ を例に説明しなさい。
- (2) 小数の加法及び減法の筆算について既習の児童が(1)で説明したような典型的な誤答をしている場合、どのような指導上の問題点が考えられるか、また小数の加法及び減法について正しく理解するためにどのような指導が必要と考えられるか。「小数と数の相対的な大きさ」に触れて 500 字以内で説明しなさい。

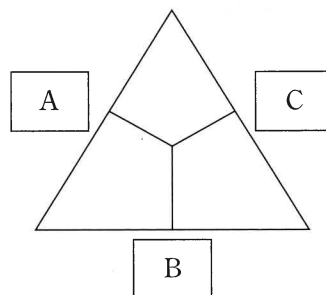
問 2 次の図は、計算三角形と呼ばれるもので、三角形の内側の隣り合う 2 数の和が対応する辺の外側の四角の中に配置されるという構造をもつ。この計算三角形について、下の各問いに答えなさい。なお、解答は、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後にそれぞれ答えなさい。



- (1) 次の図のように、計算三角形の外側の数が与えられているとき、内側の数 x , y , z の値をそれぞれ求めなさい。ただし、 x , y , z の値を求める計算過程についても記述すること。



- (2) 次の図のように、計算三角形の外側の三つの数 A , B , C が整数として与えられて、内側の三つの数を求める問題を考えるとき、内側の三つの数が全て整数となるのはどのようなときか。三角形の内側の数が全て整数となるときの外側の整数 A , B , C の条件を示し、その理由を説明しなさい。



理科

問 1 第 6 学年「燃焼の仕組み」において「植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができること」を学習する。このことに関連した次の(1)～(3)の問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目にそれぞれの問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) 「空気」とはどのようなものか。100 字以内で記述しなさい。
- (2) 「植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができること」を児童に理解させたい。どのような実験をさせると、このことが調べられるか。実験方法を 350 字以内で記述しなさい。
- (3) (2)で記述した実験をさせるに当たって、配慮することを 350 字以内で記述しなさい。

問 2 第 6 学年「植物の養分と水の通り道」においては、「植物の葉に日光が当たるとでんぷんができること」を学習する。このことに関連した次の(1)～(3)の問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目にそれぞれの問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) でんぷんは多数の単糖がつながった多糖類であり、糖は炭水化物とも呼ばれる。でんぷんを構成している単糖は何か。名称及び化学式を 25 字以内で答えなさい。化学式は、下の例に倣って、解答用紙の 1 マスに 1 文字を記入すること。その際には、大文字と小文字を区別すべきものや、数字や ± の符号において上付き下付きで表現すべきものがあれば、それらが判別できるように記入すること。

記入例

名	称	:	硫	酸	ア	ル	ミ	ニ	ウ	ム		化	学	式	:	A	1	2	(	S	O	4	)	3
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (2) 葉に日光が当たるとでんぷんができることを確かめる方法としては、「たたき染め法」とアルコールを使った「アルコール脱色法」がある。注意点や工夫を含め、それぞれの実験方法を各 325 字以内で説明しなさい。
- (3) Aさんは、朝早く取った葉にはほとんどでんぷんが含まれないことから、「昼の間に葉にできたでんぷんは、夜の間にどうなったのだろう。」という疑問を持った。昼の間に葉にできたでんぷんは、夜の間にどうなるのか。125 字以内で簡潔に記述しなさい。

生 活

問 1 小学校入学当初の生活科を中心としたスタートカリキュラムについて、次の各問いに答えなさい。

- (1) スタートカリキュラムを編成するに当たり、どのような学習活動が考えられるか。具体的な活動例を 200 字以内で四つ書きなさい。なお、解答は、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)と付してから書きなさい。
- (2) 小学校生活のスタートが円滑で豊かになるスタートカリキュラムとするために重要なことを 200 字以内で三つ書きなさい。なお、解答は、解答用紙の行頭 1 文字目に(2)と付してから書きなさい。

問 2 『小学校学習指導要領解説』の「第 5 章 指導計画の作成と学習指導 第 4 節 学習指導の進め方」において、気付きの質を高めるために必要なことの一つとして、「伝え合い交流する場を工夫する」ことが挙げられている。このことについて、1 年生の単元「冬をたのしもう」及び 2 年生の単元「大きくそだて わたしの野さい」において、実際の生活科の授業を構想した場合、どのような相手と、どのように伝え合い、交流する活動が想定できるか。

それぞれの授業において異なる具体的な相手を例示し、その相手を対象に伝える内容や交流の内容を、1 年生の単元「冬をたのしもう」については三つ、2 年生の単元「大きくそだて 私の野さい」については二つ具体的に記述しなさい。

なお、解答は、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)、(2)と書いた後、例示ごとに①～③を付し、一つの活動について 100 字以内で書きなさい。

(1) 1 年生「冬をたのしもう」(三つ)

- ①
- ②
- ③

(2) 2 年生「大きくそだて 私の野さい」(二つ)

- ①
- ②

音 楽

問 1 次の(1)～(5)の中から 2 曲選んで、時代、国や地域、楽曲の特徴や様式や内容、演奏の形態等について、それぞれ 100～150 字で記述しなさい。なお、解答用紙の行頭 1 文字目に、選んだ(1)～(5)の番号を記載すること。記号や数字も 1 文字 1 マスとする。

- (1) 成田為三作曲 《浜辺の歌》
- (2) リチャード・ロジャース作曲 《ドレミのうた》
- (3) ドヴォルジャーク作曲 《交響曲 第 9 番「新世界より」》
- (4) 《八木節》
- (5) 《コンドルは飛んでいく》

問 2 「小学校学習指導要領」の「第 3 指導計画の作成と内容の取扱い」で言及されている「音楽の縦と横との関係」とは何であることを説明し、それを表現または鑑賞の活動において指導するための効果的な方法を、400 字以内で説明しなさい。ただし、記号や数字も 1 文字 1 マスとする。

图画工作

問 1 低学年の図画工作科における「造形遊び」の活動で、細く切った新聞紙や色々な紙を、教室の中でつなぐ「つないで つるして」の授業を行うこととする。このことについて、次の問いに答えなさい。なお、解答は、解答用紙の行頭 1 文字目にそれぞれ指定された問題番号を書き、その後に続けて記述すること。文字数には句読点を含む。

- (1) この授業の指導案を作成することを前提に、三つの観点「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」で授業の目標を各 100 文字以内で答えなさい。解答用紙には、三つの目標を先に述べた順に、目標ごとに改行して記述すること。問題番号は、「知識及び技能」を(A)、「思考力、判断力、表現力等」を(B)、「学びに向かう力、人間性等」を(C)とする。
- (2) この授業を次のような展開計画で実施する。①～⑤に入る内容を答えなさい。①～③は各 50 文字以上 75 文字以内で、④～⑤は各 15 文字以上 25 文字以内で記述すること。問題番号は①～⑤とする。

場面	教師の言葉	児童の活動や言葉について
導入	「みんな！先生この細い紙をたくさん持ってきたのだけれど、これをつなげたり、つないだりしたらどんな形ができるかな」	「こんなに長い紙のひもができたよ」 「もっと長い紙が作りたい」
展開	「こんな風にのりやセロテープを使うとどんどん長くなるよ」	細い紙をどんどんつなげて長くする活動
	「 ① 」(活動を始める際の言葉)	
	「 ② 」(児童の活動を促す具体的な支援の言葉)	(④：予想される活動)
		道が分かれるようにつないでみる活動 友達と一緒につなげてみる活動
振り返り (鑑賞)	「さあ、みんなが長い紙のひもで作ったこの教室を眺めてみよう」 「 ③ 」(鑑賞するポイントを支援する際の言葉)	「 ⑤ 」(予想される発言) 「もっといろいろなところでやってみよう」

問 2 『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 各学年の目標及び内容 第 3 節 第 5 学年及び第 6 学年の目標と内容」において、「我が国や諸外国の親しみのある美術作品」の鑑賞についての記述がある。「わたしの感じる和」という授業をすることを前提に、次の問いに答えなさい。なお、解答は、解答用紙の行頭 1 文字目にそれぞれ指定された問題番号を書き、その後に続けて記述すること。文字数には句読点を含む。

- (1) この授業の指導案を作成することを前提に、三つの観点「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」で授業の目標を各 100 文字以内で答えなさい。解答用紙には、三つの目標を先に述べた順に、目標ごとに改行して記述すること。問題番号は、「知識及び技能」を(A)、「思考力、判断力、表現力等」を(B)、「学びに向かう力、人間性等」を(C)とする。
- (2) 児童が「和」を感じる対象にはどのようなものがあるかを五つ挙げ、それぞれについてどのような「和」の特徴に着目させるのか答えなさい。対象の名称及び対象の着目させる特徴を併せて 50 文字以内で記述すること。解答用紙には、対象一つごとに改行して記述すること。
例. 着物や帯 洋服とは異なる布地の質感や季節を表した模様 25 文字

家 庭

問 1 『小学校学習指導要領解説』の「第2章 家庭科の目標及び内容 第3節 家庭科の内容

A 家族・家庭生活」の「(1)自分の成長と家族・家庭生活」では、自分の成長を自覚し、家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くことが述べられている。このことに関する次の問いについて、解答用紙の行頭1文字目に(1)、(2)の問題番号を付し、それぞれ答えなさい。

- (1) 「自分の成長」を自覚することが、児童にとってなぜ必要なのかを200字以内で述べなさい。
- (2) あなたが考える小学校家庭科での「自分の成長」を自覚できるような学習活動について、600字以内で述べなさい。

問 2 『小学校学習指導要領解説』の「第2章 家庭科の目標及び内容 第3節 家庭科の内容

B 衣食住の生活」の指導内容に関する次の問いについて、解答用紙の行頭1文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後にそれぞれ答えなさい。

(1) 「(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作」とは、どのような製作のことか、学習内容や被服製作のねらいを踏まえ、200字以内で説明しなさい。

(2) 「(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作」に関して、第5学年2学期にミシン縫いの学習(全11時間)を行う場合の指導計画(題材名および第1次～第3次の小題材名、目標・学習活動)を述べなさい。その際、下の表を参考に①～⑦の問題番号を書いた後にそれぞれ答えなさい。解答は、解答用紙の欄内に収めること。

なお、手縫いについては第5学年1学期に既習(全8時間)であり、ミシン縫いについては第6学年2学期にも学習予定(全12時間)とする。

〔指導計画〕

大題材名『 ① 』

	時間	小題材名	目標・学習活動
第1次	1時間	②	③
第2次	9時間	④	⑤
第3次	1時間	⑥	⑦

体 育

問 1 あなたは小学校の教員になった。担当する学級に次の①, ②のような困難さをもった児童がいる場合, どのように指導するか, 下の六つの語句を全て用いて①, ②を合わせて 400~600 字程度で記述しなさい。その際, 用いた下の六つの語句に下線を引きなさい(複数回使用した場合にもその全てに下線を引くこと)。

① 複雑な動きをしたり, バランスを取ったりすることが困難な児童

② 勝ち負けに過度にこだわったり, 負けた際に感情を抑えられなかったりする児童

【語句(使用する順番は問わない)】

「細分化」	「見通し」	「表現」
「翌年度」	「学習内容の変更」	「補助」

問 2 『小学校学習指導要領解説』における高学年の体づくり運動領域「体の動きを高める運動」では、四つの運動内容が示されている。このことを踏まえて、高学年の体づくり運動の授業で、ボールを用いた「体の動きを高める運動」の授業を行うこととした。「体の動きを高める運動」の四つの運動内容ごとに、ボールを用いた活動例とそれぞれについてあなたが構想する授業内容を、全て合わせて 400～600 字程度で記述しなさい。

外国語(英語)

問 1 自分の町の紹介を題材に、施設・建物の言い方や We have a …, We can …, などの表現を扱う授業を行うことを想定して、次の問いに答えなさい。なお、解答に際して、解答用紙の行頭 1 文字目に(1), (2), (3), (4)の問題番号を書きなさい。

- (1) 施設や建物の単語を導入するに当たって、あなたが留意することを、具体例を挙げながら 300 字以内で書きなさい。
- (2) この単元で行う「書くこと」の指導に当たって、あなたが留意することを、具体例を挙げながら 300 字以内で書きなさい。
- (3) hospital の意味について、児童に分かるように、30 語程度の英語で説明しなさい。なお、解答に当たっては解答用紙のマス目に合わせる必要はない。
- (4) あなたが住んでいる町に、あなたがあればよいと思っている施設や建物について、児童に分かるように、30 語程度の英語で説明しなさい。なお、解答に当たっては解答用紙のマス目に合わせる必要はない。

問 2 外国語科における「話すこと[発表]」の評価について、次の問いに答えなさい。なお、解答に際して、解答用紙の行頭 1 文字目に(1), (2)の問題番号を書きなさい。

- (1) ①「知識・技能」、②「思考・判断・表現」、③「主体的に学習に取り組む態度」の 3 観点は、それぞれどのような規準で評価するべきか。3 観点について、合計 300 字以内で書きなさい。なお、3 観点の呼称はそれぞれ①, ②, ③と記述すること。
- (2) “I like my town.” を題材に、児童が行った以下のスピーチを評価する場面を想定して、①「知識・技能」と②「思考・判断・表現」の 2 観点について、A, B, C のどの評定とすべきか。あなたの考えを理由とともに 300 字以内で書きなさい。なお、2 観点の呼称はそれぞれ①, ②と記述すること。

児童が行ったスピーチ “I like my town.”

This is my town, Yamanaka-shi.
We have aquarium. (写真を指さす)
We have えーつと, 図書館, えーつと library.
Thank you.